

第2回香南市まちづくりグランドデザイン策定委員会

— 議 事 録 (要旨) —

■日時：平成27年3月24日（火）

13:30～15:30

■場所：香南市役所本庁舎3階第4会議室

■出席者

○策定委員会委員

受田委員、宮崎委員、柳本委員、高橋委員、小松委員、片岡委員、野中委員、田内委員

○オブザーバー

清藤市長

○傍聴者：2名

○事務局

浜田氏、西内（栄）氏、寺田氏、田中氏（市企画財政課）

【次第】

1. 開会（進行：浜田氏）

- ・清藤市長あいさつ
- ・受田委員長あいさつ

2. 議事（進行：受田委員長）

議事（1） これまでの検討結果について

■事務局

～内容についての説明～ 資料1①参照

■委員長

- ・資料1②から⑤についての各分野については、後ほど確認していただき、進捗しているということでご理解いただいて、次に進めさせていただきたいと思います。
- また、ご質問もあるかと思いますが、時間の関係もありますので、今後の考え方であります議事（2）の説明の後で、質問を受け付ける形で進めてよろしいでしょうか。

（意義なしの声あり）

議事（2） 香南市の人口推計の考え方について

■野中委員

～香南市の人口推計の考え方についての説明～ 資料2参照

■委員長

- ・2060年に向かっの香南市の人口設定について、いつまでに決めようとしているのか。

■田内委員

- ・人口ビジョンとともに総合戦略について、国からは27年度中の策定を求められているが、

予算等の関係から、27年10月を目処にとりまとめていきたいと考えている。

■宮崎委員

- ・グランドデザインについては、3年計画だと思うが、今後のスケジュールはどうなっているのか。

■委員長

- ・今後については議事（3）で説明する予定でしたが、ここで説明をお願いします。

議事（3） 27年度の進め方について

■事務局

～27年度の進め方についての説明～ 資料3参照

■委員長

- ・今年度については、委員会も年度後半の開催になるなど遅れてはいるが、総合戦略の策定等もあり、タイミング的には良かったと思っている。産業振興計画がスケジュールに書かれていないが、どうなっているか。

■田内委員

- ・産業振興計画、人生支援計画については、担当課に10月を目処にとりまとめを依頼している。

■宮崎委員

- ・こういう形になったことで安心をしている。国の戦略と一緒になったことで、目標値が定まったようで良いのではないかとと思っている。

■委員長

- ・総合戦略とグランドデザインや人生支援計画などの関係を、市民が理解しやすい形にしておいていただきたい。

■高橋委員

- ・人口の問題について、香南市では道路整備などにより、高知市まで20分ぐらいで行けるようになり、住宅地になっていくと思われる。また、周辺市からの転入も予想される。そうになると産業振興が重要になってくると思うが、香南市だけの産業振興ではなく、高知市や南国市の産業振興も絡んでくる。また、子育て環境や教育、福祉面が充実してくれば転入者も増えてくると思う。

■柳本委員

- ・人口について、赤岡・吉川・夜須が極端に減っているが、高台移転との関係はどうか。もし関係があるとすれば土地利用計画も考えなくてはいけないと思うが。

■委員長

- ・人口については、あくまで推計である。

■柳本委員

- ・このままの野市集中型だと、受け皿不足になると思われる。人をどこに集めるかを早く決め、それに対する道路網の整備等を早くやらなければいけない。

■田内委員

- ・野市一極集中が良いのか、市内全体の平準化が良いのか、行政の立場としては悩ましいところでもある。

■委員長

- ・県の総合戦略との関係もあるので、県の立場として小松委員のご意見を伺いたい。

■小松委員

- ・県の方針も今後示されると思うが、やはり市町村独自の考えをこういう場で議論していくことが大事だと考える。また、人口についてですが、社会増について興味深かった。社会増の理由について、さらに分析していくことで人口推計のヒントが見えてくるのではないかな。

■田内委員

- ・分析を進めていきたい。

■委員長

- ・分析していくなかで香南市の強みを強化する方法なども考えてもらえば良い。また、子育てや産業振興については、それぞれ人生支援計画や産業振興計画があるが、移住については議論する場が無いように思うが、どうなっているかな。

■田内委員

- ・移住については、人生支援計画のなかで併せて検討していくようにしている。

■委員長

- ・移住こそマーケティング戦略を明確にしなければならない。子育てが終わった壮年層、いわゆるアクティブシニアなどもターゲットになるのではないかな。

■柳本委員

- ・徳島の神山町が有名である。空港に近いなどの条件を活かし、若者が働きたいと思うような場所作りが大事だと思う。

■片岡委員

- ・南海トラフ地震対策課の立場からお話させていただきたい。南海トラフ地震時には、最悪の想定の場合、高知市だけで12万人分の避難所不足になる。今後、香南市にも広域避難の受け入れなどを要請しなければならない。避難の受け入れや、災害に強いまちづくりを計画のなかで示していくことで、定住促進につながるのではと考える。

■委員長

- ・防災対策という点では、このグランドデザインの議論のなかで、高台移転の検討もしており、かなり先取りしているということをご理解いただきたい。

■清藤市長

- ・香南市においては、移住というキーワードが少なかったが、担当課を決めて取り組んでいこうとしているところである。

■委員長

- ・今回は、特に結論ということにはならなかったが、次回開催はどうなっているかな。

■田内委員

- ・総合戦略策定の関係もあり、開催日については未定であるが、遅くとも6月頃には実施したいと考えている。

■委員長

- ・次回についても、続きの議論を活発にお願いしたい。これで閉会とさせていただきます。

以上